

二ツ井町商工会

事業者に寄り添い、より信頼される商工会

重点推進 施策

- 1 商工会ならではの事業承継と創業推進
- 2 巡回の質的向上による個社支援の実施
- 3 地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施
- 4 実効性の高い会員加入促進運動の実施
- 5 将来に備えた中長期財政運営計画の策定

●推進にあたっての基本的な考え方

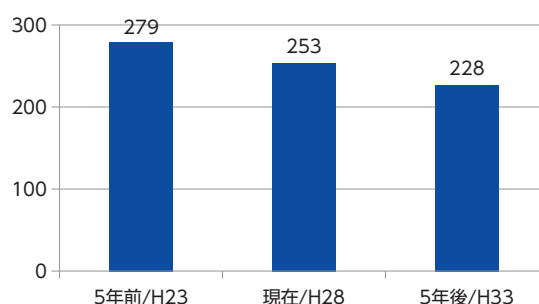
二ツ井町商工会では、能代市からの受託業務である空き店舗を活用した地域コミュニティ施設「恋文すぽっと きみまち」を平成23年度より中心商店街区において運営して以来、施設来館者の増加を目的とした活動を強化し、平成27年度には年間の来館者が3,000人を超え、地域事業者の新たな販路拡大につながっています。

一方、本商工会では会員事業者の実態調査を行なった結果、事業承継については68.2%の事業者が後継者不在、または、将来廃業の可能性があるとの回答から、今後の商工会活動について大きな影響を及ぼすことが想定されます。

このような現状を踏まえ商工会ならではの事業承継の推進に取り組むとともに、創業支援の一環として、地域の空き店舗情報をデータベース化し、創業希望者ニーズに迅速に対応できる環境を整備します。また、事業者の持続的発展に向けた質の高い課題解決提案を行うなど、攻めの巡回を通じた個社支援強化に努め、特に地域外に新たな活路を見出す販路開拓については、商談会・物産展に係る情報提供や各種施策の活用提案など事業者にあったタイムリーな支援を積極的に展開していきます。さらには、役職員一丸となった実効性の高い会員加入促進運動を実施し、商工会活動を強化するとともに、多様化する事業者ニーズへの対応や相談機能の充実を図る観点から、支援拠点のあり方について検討を行います。

また、商工会活動の健全化・安定化のため財政運営計画を策定し、検証と改善に取り組みながら、「事業者に寄り添い、より信頼される商工会」をスローガンに個社支援を強化します。

二ツ井町商工会員数の推移 (単位:人)



二ツ井町商工会アクションプログラムの構成

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

■施策1 商工会ならではの事業承継と創業推進【重点推進施策】

- 「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営状況へ導いていくことと、世代交代への適切な支援に取り組みます。また、新たな事業が地域に根づくよう環境整備に取り組みます。

■施策2 巡回の質的向上による個社支援の実施【重点推進施策】

- 攻めの巡回により事業者の経営課題を的確に把握し、質の高い個社支援を実施します。また、高度かつ専門的な課題には県連合会北部支援センターとの連携を強化した「チーム支援」を実施します。

■施策3 地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施【重点推進施策】

- 新たな取引先や顧客の開拓等、地域外に活路を見出そうとする事業者に対し、新分野進出も含め、タイムリーな情報提供と、展示会や商談会への出展支援を行います。

戦略2 プロ集団の商工会

■施策4 職員の支援スキル向上推進

- 県連合会の示す「職務遂行能力チェックシート」に基づく人材育成に取り組み、事業者に必要な職員となるようスキルアップに努めます。

戦略3 事業者が主役の商工会

■施策5 総代会制から総会制への移行の実施

- より多くの意見を商工会活動に反映させるために、総会制への移行を実施します。

■施策6 実効性の高い会員加入促進運動の実施【重点推進施策】

- 役職員が一体となり、商工会活動強化を目的とした会員加入促進運動を実施します。

戦略4 機動的・効率的な商工会

■施策7 ICT活用による情報発信力の向上

- 各種経営支援情報や商工会事業情報に加え、事業者が商工会を活用して課題解決した事例や、事業者へ必要な情報をタイムリーに提供するとともに、巡回相談の補完ツールとしても活用できるよう本商工会のホームページを改善します。

■施策8 支援拠点のあり方検討

- 商工会業務を機動的に展開していくため、支援拠点のあり方について検討します。

戦略5 環境変化に強い商工会

■施策9 将来に備えた中長期財政運営計画の策定【重点推進施策】

- 将来に向けた商工会活動の健全化を図る観点から、中長期財政運営化計画を策定します。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

1 取組内容

■施策1 商工会ならではの事業承継と創業推進【重点推進施策】

本商工会の会員の平均年齢は64.2歳で、年代別では60代が38.3%と最も多く、後継者不在の会員が68.2%となっています。今後高齢化が進み、後継者不在による経営存続の危機に直面する会員が増えると予測されることから、「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営状態へ導いていくとともに、秋田県事業引継ぎ支援センター所管の秋田県後継者人材バンクへの登録を促し、世代交代への適切な支援を実施します。

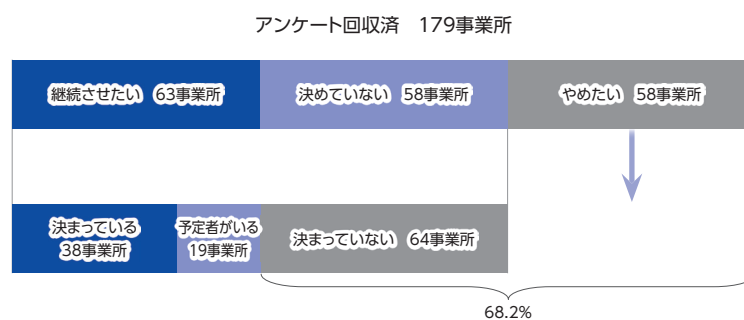
また、創業支援の一環として、地域の空き店舗情報をデータベース化し、創業希望者ニーズに迅速に対応できる環境整備を実施します。

【主な取組】

- ◆ 会員実態調査をもとにした、経営改善支援と親族内承継の推進
- ◆ 事業承継計画書作成支援
- ◆ 創業支援を目的とした地域の空き店舗情報データベース化

世代	人数	割合
30代	12	4.7%
40代	20	7.9%
50代	46	18.2%
60代	97	38.3%
70代	50	19.8%
80代	25	9.9%
90代	3	1.2%
合計	253	

当会の経営者年齢構成(会員事業所実態調査 H28/11)



現経営者の引退後の事業承継と後継者の有無について(会員実態調査 H28/11)

■施策2 巡回の質的向上による個社支援の実施【重点推進施策】

攻めの巡回による事業者の経営課題の的確な把握と、相談への迅速な対応を基本に、質の高い個社支援を実施します。また、高度かつ専門的な課題に対しては、専門家派遣制度の活用や県連合会北部支援センターとの連携を強化した「チーム支援」を実施し、多角的視点から課題解決へつなげます。

【主な取組】

- ◆ チーム支援による課題解決提案の実施

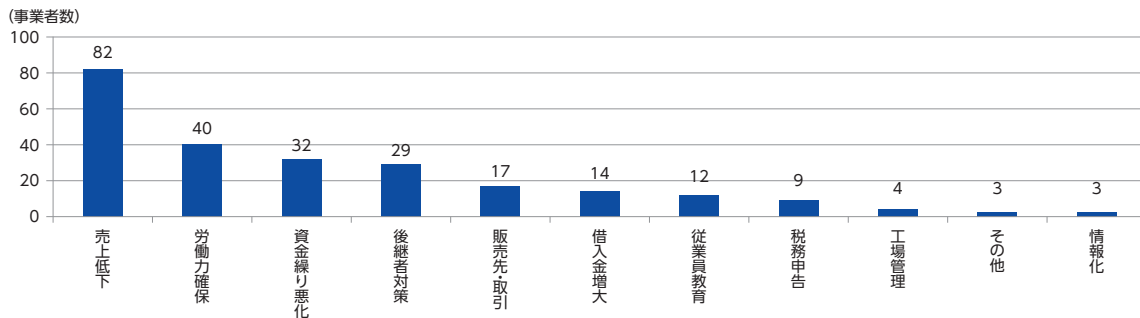
施策3 地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施【重点推進施策】

新たな取引先や顧客の開拓等、地域外に活路を見出そうとする事業者に対して、本商工会ホームページや会報等による物産展、商談会等のタイムリーな情報提供を行うとともに、インターネット販売講習会を開催し、ビジネスチャンスの拡大を支援します。

加えて、国・県・市など各種補助金の活用支援を通じ、販路開拓や新分野進出への相乗効果を狙います。

【主な取組】

- ◆ インターネット販売に関する講習会の開催
- ◆ ホームページ及び会報等によるタイムリーな情報提供
- ◆ 各種補助金を活用した販路開拓と新分野進出支援の実施



経営上の課題について (複数回答) (会員事業所実態調査 H28/11)

2 工程表

	(1) 事業承継と創業推進	(2) 個社支援	(3) 販路開拓等支援
事前	▽会員実態調査の実施	▽会員実態調査の実施	▽会員実態調査の実施
H29年度	▽事業承継計画書作成支援 ▽後継者人材バンクへの登録促進 ▽空き店舗情報のデータベース化と随時更新	▽職員間での課題共有と解決策のディスカッション ▽チーム支援による課題解決	▽インターネット販売に関する講習会開催 ▽HP等での情報提供 ▽各種補助金活用支援
H30年度	↓	↓	↓
H31年度	▽会員実態調査の実施		▽会員実態調査の実施
H32年度			
H33年度	↓	↓	↓

3 評価指標

巡回件数のうち、解決提案・実行支援の割合、事業承継計画書作成件数、創業支援件数、各種補助金申請件数を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.巡回件数(指導員1人あたり)	600件	560件	520件	500件	480件	480件
2.うち解決提案・実行支援の割合	10%	15%	30%	40%	45%	50%
3.事業承継計画書作成件数	1件	4件	4件	4件	4件	4件
4.創業支援件数	1件	2件	3件	3件	3件	3件
5.各種補助金申請件数	6件	13件	13件	13件	13件	13件

戦略2 プロ集団の商工会

1 取組内容

■ 施策4 職員の支援スキル向上推進

県連合会の示す「職務遂行能力チェックシート」活用による能力向上に取り組み、併せて研修会・講習会への積極的な参加を通して、事業者が必要とされる職員となるようスキルアップを図ります。

【主な取組】

- ◆ 職務遂行能力チェックシートの活用による能力向上

2 工程表

職員の支援スキル向上推進	
H29年度	▽チェックシートの目標設定、研修会・講習会への参加
H30年度	▽チェックシートの活用・評価、研修会・講習会への参加
H31年度	↓
H32年度	
H33年度	

3 評価指標

「職務遂行能力チェックシート」を活用した能力向上を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
職務遂行能力向上率	—	基準設定	5%	10%	20%	30%

戦略3 事業者が主役の商工会

1 取組内容

■施策5 総代会制から総会制への移行の実施

急速な経済環境変化への対応と会員減少に歯止めがかからない中で、事業者の多様な意見を商工会活動に反映させるため、平成30年度から総会制へ移行することを検討し、そのスムーズな移行に向けた準備態勢を整えます。

【主な取組】

- ◆総代会制から総会制への移行

■施策6 実効性の高い会員加入促進運動の実施【重点推進施策】

役職員が一体となり、現状の実態把握からエリアごとに未加入事業者のリストアップを行います。また、役職員のみならず、巡回を通して会員事業者からも未加入者情報を収集し、実効性の高い会員加入促進運動を実施します。

【主な取組】

- ◆商工会未加入者リストを活用した会員加入促進運動の実施

2 工程表

	(1)総代会の見直しについて	(2)実効性の高い会員加入促進運動の実施
事前	▽状況整理、検討・審議	—
H29年度	▽総代会にて定款改正	▽未加入者リストの作成と会員加入促進運動への活用
H30年度	▽総会制へ移行	▽検証と実施
H31年度	↓	↓
H32年度		
H33年度	↓	↓

3 評価指標

総会制移行後の本人出席数と新規会員加入者数を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.総会の本人出席人数	—	—	75名	100名	125名	150名
2.新規会員加入者数	3件	3件	4件	5件	6件	7件

戦略4 機動的・効率的な商工会

1 取組内容

■施策7 ICT活用による情報発信力の向上

本商工会のホームページについて、各種経営支援情報や商工会事業情報に加え、事業者が商工会を活用して課題解決を果たした事例も掲載し、必要な情報をタイムリーに取得できるよう改善します。また、事業者への支援メニューもわかりやすく掲載し、商工会の活用事例と併せて巡回相談の補完ツールとしても活用します。

【主な取組】

- ◆ 商工会ホームページの改善
- ◆ 商工会活用事例や支援メニューの巡回相談への活用

■施策8 支援拠点のあり方検討

商工会の機能強化と機動的な事業実施のため、今後の具体的な支援拠点のあり方について検討します。

【主な取組】

- ◆ 支援拠点のあり方検討

2 工程表

	(1)ICT活用による情報発信力の向上	(2)支援拠点のあり方検討
H29年度	▽商工会HPの改善と巡回相談への活用	▽検討・審議／方向性の具体化・行動
H30年度	▽HP内容の見直しと改善	
H31年度	↓	↓
H32年度		
H33年度		

3 評価指標

商工会ホームページの巡回相談活用件数を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
商工会HPの巡回相談活用件数	—	100件	110件	120件	120件	120件

戦略5 環境変化に強い商工会

1 取組内容

■施策9 将来に備えた中長期財政運営計画の策定【重点推進施策】

将来においても、個社支援を迅速かつ的確に実施できるよう商工会活動の健全化を図る観点から、新たな会費の賦課基準や適切な手数料基準の見直しについて検討し、中長期財政運営計画を策定します。

【主な取組】

- ◆中長期財政運営計画の策定

2 工程表

中長期財政運営計画の策定と実施		
H29年度	▽中長期財政運営計画の策定・実施	▽会費・手数料の賦課基準の検討
H30年度	▽検証・改善	▽新たな基準による徴収の実施
H31年度	↓	↓
H32年度		
H33年度	↓	↓

3 評価指標

中長期財政運営計画を策定し、自己財源比率を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
自己財源比率	26%	28%	31%	34%	37%	40%